

学校教育目標	心豊かにたくましく 未来をひらくふじみっこ	
豊かな心 【みんなと仲良く力を合わせる子】	今年度の重点 • 笑顔あふれる学校にしよう • 進んで行動しよう（ 自主性 を育てる）	
○仲良く助け合い、友達と協働できる子 • 認め合い、支えあい、高めあう集団作り。 （学級、学年づくり、 異学年交流 ） • 人とのかかわりあいや ルールやマナーの指導 • 道徳を核とした命と心を大切にする教育	たくましい心と体 【根気強くがんばる子】 ○進んで体を動かし、目当てをもって粘り強く やりぬく子ども。 • 運動を通した体力づくり • 自分の命は自分で守る健康安全指導の充実	
資質・能力の育成 【自分で考えて解決しようとする子】		
何ができるようなるか 学校教育の基本	↔	何が身についたか 学習評価を通じた学習指導の改善
○学習したことや経験したことを生かすことができる。 ○自ら課題を見つけ主体的に判断し課題を解決できる。 ○協働的に学びあい、自分の考えを広げたり深めたり できる。		○自分の考えをもち、学びあいを通して、自分の 考えを広げたり深めたりしている。 ○身につけた知識や技能を問題解決に生かしている。
子どもの実態 ○明るく素直であるが、自分の 考えを表現するのが苦手である。 ○与えられた課題に対しては真 面目に取り組んでいる。	子どもの発達をどのように支援するか 配慮を要する子どもへの指導 ○個に応じたきめ細やかな指導 • 一人一人のニーズを把握しSSスタッフ、 介助員、SC等と連携して支援する。 ○チーム対応 • 職員間の情報共有とチーム支援。 ○ユニバーサルデザインを意識した指導	目指す子ども像 ふ 深く考え じ 自分から進んで行動し み みんなと仲良く力を合わせ こ 根気強くがんばる子
何を学ぶか 教育課程の編成	どのように学ぶか 教育課程の実施	
○わくわく楽しい授業—課題を見つけ、共に学びあい、 主題的に取り組む授業づくり。 ○できる・わかる授業—基礎的基本的な力（聞く・話す・ 読む・書く）の育成	○1年間を見通しつけたい力を明確にする。 ○カリキュラムマネジメントを行い計画を立てる。 ○対話を大切に「あたたかい聞き方」「やさしい 話し方」を基盤とした学習活動。	
実施するためには何が必要か 指導体制の充実、家庭・地域との連携		
○「チーム富士見」 みんなで子どもたちを見て、みんなで富士見小 の子を育てていく。 ○学校研究の充実（わかる楽しさ） ○交換授業の実施（複数の視点で児童理解） ○いじめの早期発見、チームでの早期対応 ○教育相談コーディネーターを核としての支援体制の充実	○SC、SSW、関係諸機関との連携 ○学びの連続性を意識した幼保・小・中の連携 ○家庭・地域との連携 ⇒コミュニティスクールを活かした連携 ○職員の研修・研究の充実 ○組織として対応	
安心・安全を守る	開かれた学校づくり・特色ある学校づくり	
• 安全に過ごせる教室・学校 • 認め合い安心して過ごせる教室・学校 • 人権意識をもって、お互いを尊重し合う • 自分の命は自分で守る安全・防災教育 • 学校施設・設備の点検・仕組みづくり • 教職員の研修・安全対策に対する意識向上	コミュニティスクール（3年目）生かした活動 ⇒地域の人材、教材を生かした学校づくり • 学びや体験活動の充実 • 学校だより、学級、学年だより等による情報発信 • ビオトープのある学校（環境を活かした学校）	